

事業名称	駅西まち歩きで地域と親子のふれ合い創出
団体名・代表者	旧モノレールあそび場制作委員会 会長 三木健司
協働の相手方	産業振興課 中心市街地活性化推進室

目的	戦後の卸売市場としてのまち並みを残しつつもリノベーションまちづくりが進む 姫路駅西エリアにおいて、まちを歩きながらエリアの魅力を発見したり、地域の人達や子育て世代の交流を深めることで子供達の「遊び・学び・気付き」を促す。
内容	交流イベントやワークショップの開催 ・こどもアートフェスティバル開催 ・まち探検企画「サンタを探せ」開催 ・DIY 企画「ベンチをつくろう」開催
事業経過	各イベントやワークショップにテーマを設けて実施したところ概ね成功に終わった。 一方で課題も見つかり、より親子に求められるエリア・拠点づくりが必要と感じた。
事業の効果	集客実績 ・こどもアートフェスティバル 550名 ・まち探検企画「サンタを探せ」 50名 ・DIY 企画「ベンチをつくろう」20名
今後の展望	次年度以降は事業性においても自走できるよう計画していく。

【実施団体の事業総括・感想等】

親子ふれあいの機会を駅西エリアとして創出出来たと感じている。
次年度以降は自走できるよう、より一層子供たちに喜んでもらえるよう事業を推進していく。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

「リノベーションまちづくり事業」を皮切りに、新たなにぎわいが創出されている駅西エリアで、子育て世代をターゲットにしたウォーカブル（まち歩き）イベントを開催することは、親同士の新たな出会い、つながりを生み出すものであり、本市が子育てしやすい環境であることをPR する上でも非常に有意義な取組であった。
事業継続においては、いかに収益を上げるかが重要であるため、引き続き駅西エリアの魅力を発信、広報し仲間を増やししながら、持続可能な取組として事業を発展させてほしい。